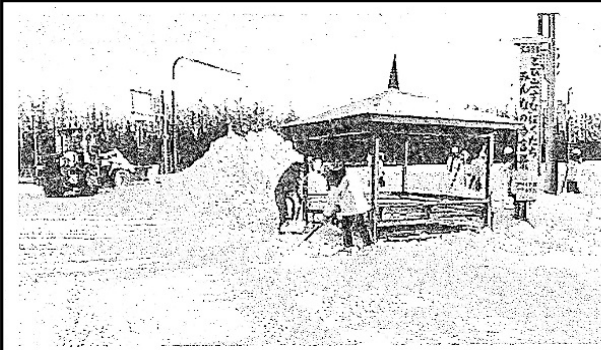


交差点の雪山 除去作業奉仕

宮坂建設工業

【帯広】宮坂建設工業（本社・帯広、宮坂寿文社長）は20日、帯広市大正町にある新西国三十三番観世音菩薩交通安全地蔵尊周辺で今季初となる除排雪の地域貢献活動をした。写真。



地蔵尊は、とから帯広空港に近い道道帯広空港線沿いの交差点にある。除雪作業で雪山ができるが見通しが悪くなるため、同社では2004年から毎年降雪後に除排雪作業を手掛けている。

棟方聡土木部長をはじめ12人が参加。タイヤシヨベル1台とダンプ3台を使って雪を処理した。棟方部長は「大型車や一般車両の往来が多く、雪山で対向車が見えなくなると危険。少しでも交通安全に貢献できれば」と話していた。

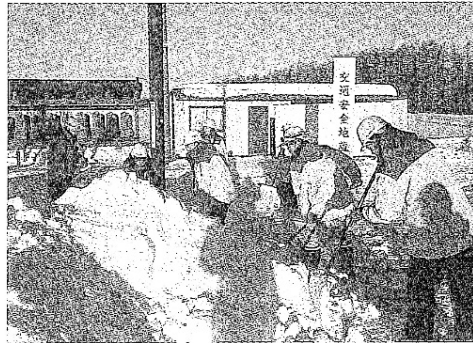
宮坂建設工業が奉仕作業

事故防止への願い込め

交通安全地蔵尊周辺で除排雪

【帯広発】宮坂建設工業(株)(帯広、宮坂寿文社長)は二十日、地域貢献の一環として、道道帯広空港線と市道の交差点にある「新西国三十三番観世音菩薩交通安全地蔵尊」周辺で除排雪

作業を行った。役職員ら十人が早朝から作業を実施。地域住民の交通安全に對する意識を高めようと、熱心に作業に取り組んだ。同社は、創始者の遺訓である「世の為人の為につく



役職員ら12人が手際よく作業を進めた

事に携わったことをきっかけに毎年行っている。

長年にわたる活動は、ことしで十五年目を迎えた。今シーズン初めてとなるこの日は、タイヤショ

せ」の精神のもと、各地で積極的な地域貢献活動を展開。今回の取組もその一つで、帯広・広尾道の建設工

ベル一台とタンプロック三台を動員。重機の進入が困難な箇所については、社員が手作業で除雪を進めた。

十勝管内では、今月に入ってからまとまった雪が降り続いたが、作業終了後の周辺は見違えるほどきれいな状態に。懸命な活動の甲斐もあり、道路上からも交通安全地蔵尊が確認できるようになった。

棟方聡土木部長は「活動を通じ、付近を通行する車両や近隣住民の皆さん方の交通事故防止に少しでも役に立てれば」と話していた。

奉 仕

◆宮坂建設工業（帯広、宮坂寿文社長）が除排雪作業

20日、帯広市大正町の道
道帯広空港線と市道交差点
の「新西国三十三番観世音
菩薩交通安全地藏尊」周辺
で行った写真。
同社が帯広広尾自動車道

の建設工事を担当したこと
から、2003年度から実
施している。

今冬の作業は1回目。参
加した社員12人が、スコッ
プや重機で作業を行った。

